

特殊文獻目錄

世界恐慌後の恐慌及景氣變動に
關する邦文文獻

山 口 茂

序

この文獻目錄の集録の範圍は大體一九二九年（世界恐慌）後に於ける邦文々獻に限つた。それは事實に於て吾國に恐慌及景氣に關する文獻の多く現はれたのは、この時以後のことだからである。

文獻の集録の範圍及び分類については、研究の便宜を主とした。それはこの雜誌の性質に顧みたことにもよるが、またこのやうな體裁での文獻目錄があつてもいゝと考へたからである。従つて集録した文獻の範圍についても必ずしも嚴密な標準に依らなかつた。年代的にも多少の例外を認めたのはこの趣旨によるものである。尙分類の各項下に於ける排列は發表順によつた。

外國文獻についてはこの種の著書に掲げられてゐるものゝ外幸ひ次の如き目録がある。

(a) 丸谷喜市編 經濟書誌 第一編 景氣 昭四、七六頁

(b) Gordon, R. A., ed. A selected bibliography of the literature on economic fluctuations, 1930—36. (The

Review of Economic Statistics, Vol. XIX, no. 1, Part 2, Feb, 1937.) この目録に於ける文獻の集録範圍は、英

佛・獨・蘭・伊・瑞典の各國語に互り、その數約九四〇に上つてゐる。

尙文獻目録と景氣理論一般に關する解説とを兼ねたものとして次のものを擧げて置く。

山口茂 景氣變動論(東京商科大学一橋新聞部編 經濟學研究の葉 昭和一〇年所收)

文獻の檢索に當つては次の如きものを參考として甚だ便宜を得た。

大阪商科大学經濟研究所編 經濟學文獻大鑑

同經濟學雜誌 内外文獻月報

神戸商業大學商業研究所編 經濟法律文獻目録

同國民經濟雜誌 内國文獻目録

尙本文獻目録の作成については、鬼頭、高橋兩氏並に一橋學會景氣變動研究室の學生諸君の助力に俟つところが多かつた。附記して謝意を表す。

一 恐慌及び景氣事情

恐慌史に關するものと事情・時事論に關するものとを分けて見ると、前者の著しく尠いことが分る。後者の甚だ多
世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻

數に上るべきことはまた想像に難くないが、それだけ集録洩れもあるかと思ふ。

事情に關するものは、これを大體、世界恐慌、農業恐慌、其他の三つに分つた。尙世界恐慌に關する内外の文獻目錄としては次のものがある。

大塚金之助編 世界恐慌文獻一九二九——一九三一年（東京商科大学研究年報 經濟學研究 1所載） 三三頁

イ 恐慌史

ハインドマン 八木澤善次譯 近代經濟恐慌史論 大正一四、

二六八頁 (Hyndman, H. M., Commercial Crises of the 19th Century, 1892, 2nd. ed. 1902)

一八一五年の恐慌から一八九〇年の恐慌までを年代順に述べたもの。

ツガン、バラノウスキー 鍵本博譯 英國恐慌史論 昭六 四

六七頁 (Tougan-Baranowsky, M., Les Crises industrielles en Angleterre, tr. par Schapiro. 1913.)

第一編恐慌の歴史 第二編恐慌の理論 第三編産業恐慌の社會的影響、一八二五年の恐慌から一九〇九年の恐慌までを述べたもの。

野村兼太郎 世界恐慌史（世界經濟問題講座第三部世界恐慌の

中）昭八 五四頁。

志儀長 恐慌史論 昭一一 五五五頁。

大體十八世紀初頭より一九三二年に至るまでの恐慌につき年代順に敘述。

ヴァルガ總監修ソ聯科學アカデミヤ世界經濟世界政治研究所

永住道雄譯 ヴァルガ世界經濟恐慌史 第一卷第一部「一九

二九年の世界經濟恐慌と恐慌史」昭一二、二〇六頁 本書は

一八四八年より一九三五年に至る世界經濟恐慌史（全四卷）の一部として出版せられたものである。

ロ 恐慌・景氣事情

有澤廣己 阿部勇 世界恐慌と國際政治の危機（經濟學全集別卷）昭六、八六〇頁。

高垣寅次郎 金本位と世界恐慌（現代經濟學全集第二八卷世界

- 恐慌の中、昭七)
- 町田義一郎 現時の世界經濟恐慌概観(世界經濟問題講座第三部世界恐慌)昭八、一〇三頁。
- 前編五二頁 後編五六頁。
- 三邊金藏、小高泰雄 恐慌對策(世界經濟問題講座第三部世界恐慌)昭八、六〇頁。
- 平尾彌五郎 世界恐慌と賠償問題 昭七、四〇九頁。
- 平尾彌五郎 貨幣政策と景氣變動 昭九 三三四頁。
- 第一章米國の貨幣恐慌と金本位制の世界的停止、第二章世界貨幣恐慌とロンドン會議 第三章歐洲金本位プロックとその運命 第四章米國貨幣恐慌と一計劃的國家資本主義「策」の發展 第五章米國に於ける貨幣的景氣政策の實驗 第六章英國爲替平衡資金制度の運營と效果 第七章ドイツの貨幣恐慌と平價切下問題。
- 平尾彌五郎 金・銀・世界恐慌 昭一〇 二七三頁。
- 田中鐵三郎 國際決済銀行と世界恐慌(金融研究會講演集一) 昭八 二一八頁。
- 平野常治編 世界經濟恐慌の過程と現勢 昭七 上編一二二頁 世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻
- 下編一〇六頁。
- 國際聯盟事務局 世界經濟不況の過程並びに様相(國際聯盟經濟叢書第三冊)昭七 五五二頁 (The Secretariat of the League of Nations, The Course and the Phases of the World economic depression. 1931)
- 外務省通商局編 最近世界生産と物價の動向 昭一二 三三三頁。
- シムムネーター講演 (日本經濟聯盟會・日本工業俱樂部編) 世界不況に就て 昭六 三三三頁。
- ソルター講演 (日本經濟聯盟會編) 國際聯盟より觀たる世界經濟不況 昭六 三三三頁。
- アインチッピ・ポール、木村禧八郎譯 世界經濟恐慌の解剖 (Einzig, Paul, The World economic crisis 1929—1931. 1931.)
- コール、金子鷹之助、高橋誠一譯 世界恐慌と英國の對策 昭七 一三六頁。(Cole, G. D. H., The next ten years in Britain social and economic Policy 1929.)
- ワーゲマン原著、小島昌太郎監修邦譯 世界經濟機構と景氣變動 昭七 四〇〇頁。

一 橋論叢 第一卷 第三號

緒論、第一編世界經濟の經濟組織 第二編經濟組織と景氣變動 第三編國民經濟に於ける景氣系列の世界經濟的依存關係 第四編國際交易の循環とその景氣變動 第五編經濟組織に依る景氣變動の診斷。

ワレゲマン、小島昌太郎監修譯 國民經濟組織の缺陷と世界恐慌 昭七 三五〇頁。

第一編世界經濟の發展と世界大戰に至るまでの恐慌史 第二編世界大戰後における組織の改造 第三編大戰後における世界經濟的景氣變動 第四編世界經濟恐慌の原因 第五編世界經濟構造における經濟政策組織の缺陷、結論、世界經濟は果して終焉か (Wagemann, Ernst, Struktur und Rhythmus der Weltwirtschaft, 1931)

ルビンシュエタイン 高山洋吉譯 世界經濟恐慌概論 昭六 二五二頁。

プロレタリア科學研究所世界情勢研究會編 資本主義の一般的危機と世界恐慌 昭六 三二二頁。

ワリヤーン編 經濟批判會譯 世界恐慌——數字に現れた。(世界經濟叢書) 昭七 二三一頁。

經濟批判會譯 國際信用恐慌——インフレーションへの道(世界經濟叢書七) 昭七 二七二頁。

界經濟叢書七) 昭七 二七二頁。

コムアカデミア世界政治經濟研究所、ロシア問題研究會譯

メリカの貨幣及信用恐慌 昭九 二一七頁。

ヴァルガ監修 世界景氣研究會譯 世界恐慌四箇年の總決算

昭九 一二五頁。

ヴァルガ 大恐慌とその政治的結果 昭一一 三六七頁。

ヴァルガ總監修ソ聯科學アカデミヤ世界經濟世界政治研究所、

永住道雄譯 ヴァルガ世界經濟恐慌史 第一卷第一部 一九

二九年の世界經濟恐慌と恐慌史 昭一二 二〇六頁。

八木芳之助 世界的農業恐慌に関する見解(經濟論叢三〇——

六) 昭五。

經濟批判會譯編 國際農業恐慌(世界經濟叢書第三輯) 昭五

一六七頁。

リヤシチェンコ 直井武夫譯 農業恐慌の理論 昭六 二〇五

頁。

第一部資本主義的農業恐慌の理論 第二部農業に於ける資本

主義的恐慌の歴史。

國際聯盟事務局東京支局、世界農業恐慌 附國際農業抵當銀行

(國際聯盟經濟叢書第二冊) 昭六 三四四頁。(League of Nations: "The Agricultural Crisis: Ia Crise agricole." International Agricultural Mortgage Credit Company: Convention, Charter and Statutes approved by the Council of the League of Nations 1931. II. A. 13.)

東畑精一 日本農業恐慌(現代經濟學全集第二八卷世界恐慌の中) 昭七)

日本農業研究會編 農業恐慌の全面的展望(日本農業年報 第一輯) 昭七。

伊藤秀一 世界農業恐慌(世界經濟問題講座第三部世界恐慌の中) 昭八 七三頁。

東洋經濟新報社 日本の景氣變動(上下二卷) 昭六。

上卷は主として景氣指數の説明 下卷は日清戰爭以降昭和五年末に至るまでの日本の各種景氣指數につきグラフにて圖示(八八圖)

名古屋高商産業調査室編 景氣循環の調査研究 昭七。

この他同調査室から多數の調査報告が出てゐる。

物價問題調査會編 物價變動要覽 昭一二 一九四頁。

世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻

歐洲大戰以降最近に至る日本重要商品相場。

土方成美 我國民所得の構成と景氣變動(經濟學論集 二—

一一) 昭七。

飯田繁(大阪商大經濟研究所編) 最近の物價政策と景氣(調査彙報十三輯) 昭一一 五八八頁。

第一章緒論 第二章最近に於ける景氣政策 第三章最近に於ける物價中心の景氣政策 第四章最近に於ける物價政策の方法 第五章戰後に於ける物價政策の發展。

井上鏗三 生絲恐慌(一九三〇年) 昭六 一九五頁。

大塚金之助、渡邊謙吉 資本蓄積と經濟恐慌(日本資本主義發達史講座第二部資本主義發達史の中) 昭七 六八頁。

井波卓一 最近に於ける經濟狀勢と經濟恐慌(日本資本主義發達史講座第三部帝國主義日本の現状の中) 昭七 上、四六頁。下、四八頁。

尙一般事情を知るに便宜なものとして、次の如き定期刊行物を擧げらるであらう。

東洋經濟新報社編 日本經濟年報

内外經濟協會編 内外經濟四季報

日本經濟研究所編 日本經濟四季報

二 景氣理論

理論的研究に關するものは、これを理論と學說とに分ち、前者を更に一般理論、景氣觀測、特殊問題研究の三とした。特殊問題の研究に關するものは大體、方法に關するもの、長期波動に關するもの、其他に分つて見た。長期波動に關する研究の一時多かつたことは注目に値するであらう。

また一般理論に關するものを翻譯とオリヂナルなものに分けて見ると前者の方が遙かに多いことが知られる。その原因の一部は吾國に於ける此種の研究設備の不充分なことにあると思はれる。参考のために附記して置く。

イ 一般理論

二七八頁。(Wagemann, Ernst, Einführung in die Konjunkturlehre. 1929)

ホートレイ 經濟同政會譯 景氣と信用 昭六 二七五頁。

ワージェマン 小島昌太郎監修譯 國民經濟組織の缺陷と世界恐慌 昭七 三五〇頁。

(Hawtrey, R. G., Trade and Credit, 1928)

ワージェマン 小島昌太郎監修譯 世界經濟機構と景氣變動 昭七 四〇〇頁。(以上二冊 Wagemann, Ernst, Struktur und Rhythmus der Weltwirtschaft. 1931.)

ツガン・バラノウスキー 鍵本博譯 英國恐慌史論 昭六 四六

ワージェマン 有澤廣己、森谷克己譯 資本の蓄積並に崩壞の理論 昭七 八一四頁。(Grossman, Henryk, Das Akkumul-

七頁。(Tougan-Baranovsky, M., Les Crises industrielles en Angleterre, tr. par J. Schapiro 1913) 第一編恐慌の歴史

史 第二編恐慌の理論 第三編産業恐慌の社會的影響。

ワージェマン 萩原謙造、望月敬之譯 景氣變動論入門 昭七

ワージェマン 萩原謙造、望月敬之譯 景氣變動論入門 昭七

ワージェマン 有澤廣己、森谷克己譯 資本の蓄積並に崩壞の理論 昭七 八一四頁。(Grossman, Henryk, Das Akkumul-

ation und Zusammenbruchsgesetz des kapitalischen Systems. 1929.)

ケインズ 鬼頭仁三郎譯 貨幣論 全五分冊 昭七—九。

(Keynes, J. M., A Treatise on Money 1930, 2 vols.) 第一分冊貨幣の性質、貨幣の價值 昭七、一六五頁。第二分冊

貨幣の基本方程式 昭七、一七二頁。第三分冊價格水準の動

態 昭八、一六七頁。第四分冊貨幣的諸因子とその變動、投

資率とその變動 昭八、三一二頁。第五分冊貨幣の統制 昭

九、二九一頁。

ワグマン 小島昌太郎監修譯 景氣變動論——經濟の景氣變動に關する學問への基礎理論——昭八、四〇六頁。(Wag-

mann, Ernst, "Konjunkturlehre." Ein Grundlegung zur

Lehre von Rhythmus der Weltwirtschaft)

ハイエック 豐崎稔譯 貨幣と景氣變動 昭九、一九二頁。

(Hayek, F. A., Preise und Produktion, 1931)

ルクセンブルグ・ローザ 長谷部文雄譯 資本蓄積論 上 昭

九、二一七頁。中 昭九、二三九頁。下 昭九、二二〇頁。

(Luxemburg, Rosa, Die Akkumulation des Kapital,

Ein Beitrag zur ökonomischen Erklärung des Imper-

世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻

ialismus, Franckes Verlag in Leipzig, 1921)

ハイエック 野口弘毅譯 景氣と貨幣——貨幣理論と景氣理論

昭一〇。 Hayek, Friedrich A., Monetary Theory and

the Trade Cycle, 1933. (Geldtheorie und Konjunkturtheorie, Wien 1929)

シムソートホフ 塚月敏之譯 シムソートホフ景氣理論 昭一

一、三〇六頁。Spiethoff, Arthur, Artikel, "Krisen" (In

Handwörterbuch der Staatswissenschaften, 4 Aufl. Bd. 6,

Jena, 1925)

マルクス 猪俣津南雄譯 剩餘價值學說史 第二卷第二部 昭

一一、三七五頁。第三章資本蓄積と恐慌(Marx, Karl, Theo-

rien über den Mehrwert, aus dem nachgelassen Manus-

kript "Zur Kritik der politischen Ökonomie" von Karl

Marx, herausgegeben von Karl Kautsky II. 2. III)

ロビンソン 豐崎稔譯 ロビンソン貨幣政策と物價——景

氣變動論——昭一一、一五七頁。Robertson, D. H., Banking

Policy and The Price Level (an essay in the Theory of

the Trade cycle. London 1926)

シムズ 中山伊知郎、東畑精一譯 經濟發展の理論

シムズ

一橋論叢 第一卷 第三號

- 昭二一、七〇九頁。(Schumpeter, J., Theorie der wirtschaftlichen Entwicklung, Eine Untersuchung über Unternehmergewinn, Kapital, Kredit, Zins und den Konjunkturzyklus. 2. neubearbeitete Auflage München und Leipzig)
- ウキクセル 豊崎稔譯 金利と物價 昭二一、二四三頁——貨幣の交換價值決定のその研究—(Wicksell, Knut, Geldzins und Güterpreise, eine Studie über die den Tauschwert des Geldes bestimmenden Ursachen, Jena 1898)
- 大阪野村銀行調査部 經濟界景氣變動の研究 上卷 大一四、三三一頁。中卷 昭六、三八一頁。下卷 昭四、六五二頁。
- 高田保馬 景氣變動論 (現代經濟全集第一三卷) 昭三、四八五頁。第一部序論 第一章經濟動態理論 第二章經濟靜態 第三章前進的變動 第二部本論 第四章景氣變動の概観 第五章財の側に於ける變動 第六章信用の側に於ける變動 第七章景氣變動と生産方法の變化 第八章景氣原因の理論 第九章景氣變動に關する諸學說 第十章景氣と恐慌。
- 梶浦廣一 景氣變動の理論 昭五 一三五頁。
- 高嶋佐一郎 信用統制と景氣變動 昭五、八二八頁。中編景氣變動とその安定 諸學說批判 (Cassel, Shaw, Wells; Hawtrey, Pigou 等の學說に關する批判)
- 小林新 景氣循環論 (經濟學全集第六卷經濟學特殊理論上の中、一五) 第一章經濟均衡と景氣變動 第二章景氣循環に關する學說 第三章景氣循環の觀測法。
- 服部文四郎 我國の金融と景氣 昭六 五〇五頁。
- 町田義一郎 恐慌學說史・景氣變動論 (世界經濟問題講座第三部世界恐慌の中) 昭七 一一五頁。
- 高田保馬 變動の理論 (經濟學新講第五卷) 昭七 五一四頁。
- 今西正雄 景氣研究の諸問題 昭八、二九五頁。第一章景氣變動論の經濟學上に於ける地位並に研究對象 第二章史的に見たる景氣變動と循環論 第三章景氣變動の根本的考察 第四章研究方法 第五章各國景氣研究所の特質 第六章結論。
- 豊崎稔 景氣論 (現代金融經濟全集第三二卷) 昭一〇、二八六頁。
- 高橋次郎 景氣政策批判 昭一一、二一三頁。第一編景氣政策と景氣理論 第二編産業統制政策 第三編インフレーション政策 第四編景氣政策の總括的批判。

波多野鼎 景氣變動論 昭一二、二三二頁。第一編序論 第一

章景氣及恐慌の概念 第二章景氣變動史概観 第二編本論

第三章景氣變動の必然性 第四章景氣上昇の理論 第五章恐

慌の理論 第六章景氣下降の理論。

桑原晋 資本主義と景氣循環（理論經濟學叢書六） 昭一二

二四七頁。

ロ 景氣觀測

ムウア、蟻川虎三譯 經濟循環期の統計學的研究 昭三、一六

〇頁。(Moore, H. I., Economic Cycles: Their Law and

Cause 1914)

ハーデイ、コックス、田村市郎譯 景氣觀測の方法 昭三、三

四〇頁。(Hardy, C. O. & Cox, G. V., Forecasting Business

Conditions. 1927)

田村市郎 我國の景氣循環と景氣指數 昭五 三九九頁。

小林新 景氣循環論（經濟學全集第六卷經濟學特殊理論上の中

昭五）

ラコム、松岡孝兒譯 景氣豫測法の研究 昭六、三四〇頁。

(Lacombe, Edouard; La prevision en matiere de crises

世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻

économiques, Paris, Marcel Riviere 1920)

豊崎稔 景氣豫測法研究——景氣研究法の批判的發展概説——

（大阪商科大学研究叢書第二册） 昭七、三〇五頁。第一章世

界恐慌と景氣豫測法 第二章景氣變動過程の理論的研究法

第三章理論的研究法の批判としての統計的研究法 第四章統

計的景氣研究法の批判と折衷的景氣研究法 第五章世界大戰

後の景氣變動過程と所謂循環論的景氣理論との内容的不一致

第六章世界恐慌と循環論的景氣研究法の危機 第七章循環論

的研究法の批判としての恐慌論的景氣研究法。

武田鼎一 新景氣觀測論（最近經濟問題叢書） 昭一一、二三

九頁。

郡菊之助 景氣指數論 昭一一 四八三頁。

桑原光太郎 景氣觀測について（經濟論叢三八、五、六） 昭

九。

郡菊之助 ハネイの景氣豫測法に就いて（商業經濟論叢一一—

上） 昭九。

ハ 特殊問題研究

豊崎稔 景氣現象の統計的研究方法の發展（大阪商科大学創立

一 橋論叢 第一卷 第三號

五十周年記念論文集の中 昭五)

竹島富三郎 景氣變動理論に關する基本問題 (大阪商科大学創

立五十周年記念論文集の中、昭五)

井上鐵三 景氣論の發展と資本主義の發展 (大倉高等商業學校

創立三十周年記念論文集の中、昭五)

丸谷喜市 景氣現象の本質 (國民經濟雜誌四八—五) 昭五。

靜田均 景氣變動と不均衡の問題 (法政大學論集五一—) 昭六

豐崎稔 統計的景氣分析と經濟的正常均衡 (大阪商大經濟研究

年報四) 昭八。

宮田喜代藏 景氣の綜體的考察 (國民經濟雜誌五四—三) 昭八

谷口吉彦 古典派に於ける恐慌論と動態論との關係 (經濟論叢

三八—三) 昭九。

中山伊知郎 經濟動態論の構造 (經濟學論集四—二) 昭九。

杉本榮一 均衡價格成立の過程 (東京商大研究年報經濟學研究

三) 昭九。

高橋泰藏 經濟動態理論と正常狀態の想定 (東京商大研究年報

商學研究三) 昭九。

梅田政勝 景氣變動論の構造 (商業論集九—一) 昭九。

村瀬忠夫 景氣變動學說 (早稻田政治經濟學雜誌三五號) 昭九

松浦要 景氣理論構造に對する基礎考察 (中央大學五十周年記

念論文集の中、昭一〇)

柴田敬 長期景氣波動の研究 (經濟論叢三四—一) 昭七。

柴田敬 長期景氣波動と世界恐慌 (經濟論叢三四—三) 昭七。

豐崎稔 長期的景氣波動說の一考察 (經濟時報三一—二) 昭七

松岡孝兒 レスキュールの長期的景氣變動論 (經濟論叢三八—

四) 昭八。

田中精一 エルンスト・ヨーン長期的景氣波動は存在するか？

(經濟學論集三一—二) 昭八。

田中精一 長期的景氣波動と資本蓄積の機構——併せてコンド

ラチェフ長期的景氣波動論の批判—— (經濟學論集四—四)

昭九。

水川透 恐慌と金問題 (經濟學全集第一四卷恐慌學說の中、昭

七)

田中金司 インフレーションと景氣變動 (經濟學論集三一—三、

四「インフレーション理論」特輯の中昭八) 尙この特輯號に

はインフレーションに關する「論說」インフレーションの發

展「インフレーションの諸學說」が收められて居る。

土方成美 米價變動と景氣變動(經濟學論集七―二) 昭二。

松井清 資本移動と景氣變動の問題(經濟論叢四五―五) 昭二

三 景 氣 學 說

景氣學說に關するものは一般學說史と特殊學說研究とに分つた。特殊學說研究は個々の學說の研究紹介に關するものであるが、この中からケインズの理論に關するものと、ハイエク及び中立貨幣理論に關するものとを區別して見た。それはこれらに關する文獻が比較的多數に上つてゐること、その重要さによるものである。尤もこの後の二者については必ずしも景氣理論に關するものに限らず、出来る限り多く集録することに努めた。これはさきに述べた研究の便宜を主とする趣旨によるものである。但しケインズについては「貨幣論」に關するもの限り、「一般理論」に關するものはこれを省いた。

イ 學 說 史

小林新 景氣循環論(經濟學全集第六卷經濟學特殊理論上の中、昭五)

町田義一郎 恐慌學說史、景氣變動論(世界經濟問題講座第三部世界恐慌) 昭七 一一五頁。
谷口吉彦 恐慌に關する諸學說(經濟學全集第十四卷恐慌學說の中、昭七)

ツガンバラノウスキー、鍵本博譯 英國恐慌史論 昭六 四六

豊崎稔 景氣豫測法研究——景氣研究法の批判的發展概説——

七頁。(Tongan-Baranowsky, M., Les Crises Industrielles en Angleterre, tr. par J. Schapiro, 1913.)

(大阪商科大学研究叢書第二冊)、昭七 三〇五頁。
本書は多分に學說史的なものである。内容については景氣觀測の項参照。

第二編 恐慌の理論。

世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻

一 橋論叢 第一卷 第三號

波多野鼎 景氣論 昭九 二二七頁。

第一論序論 第二編構造的景氣論、ツガン、バラノウスキー、

シュビートホフ、ホブソン、ブニヤチヤン、レーデラー。

第三編貨幣的或は信用的景氣論、フィツシヤ、シユムペー

ター、ハーン、ホートレー、ケインズ。

豊崎稔 景氣論序説 昭一〇 一六二頁。

第一章現段階の景氣恐慌理論 第二章資本主義初期の恐慌論

第三章資本主義繁榮期の景氣循環論 第四章獨占段階の景氣

循環論 第五章景氣變動の統計的研究法 第六章統計的景氣

研究法への批判 第七章世界恐慌と景氣循環論の補訂 第八

章崩壊論的恐慌論 第九章景氣研究の方法論的原理について

の總括。

岸忠助 景氣論通説 昭一一 四二六頁。

波多野鼎 景氣學說批判 昭一二 四六四頁。

ロ 特殊學說研究

戸田武雄 ワルター、フェーレル・恐慌理論の危機(經濟學論集

三一五) 昭八。

木村健康 シース・二時間と資本主義的生産(經濟學論集三一

五) 昭八。

田中精一 エルンスト、ヨーン・「長期的景氣波動は存在する

か?」(經濟學論集三一) 昭八。

安井啄磨 フリードリッヒ、ルッツ・「經濟學における景氣問題」

(經濟學論集四一一) 昭九。

木村健康 シュタツケルベルク「市場形態と均衡」(經濟學論集

五一七) 昭一〇。

難波田春夫 シュタツケルベルク「均衡なき市場形態の理論に

おける典型的な推論の誤りについて」(經濟學論集五一〇)

昭一〇。

靜田均 ボーレの恐慌理論(經濟論叢三〇一四) 昭五。

靜田均 カッセル景氣理論への一考察(法政大學論集五一二)

昭六。

宮田喜代藏 リーフマン景氣理論の吟味(商業經濟論叢第一卷

下巻別刷) 昭八 五四頁。

谷口吉彦 チャー・マーズの恐慌理論(經濟論叢三八一二) 昭九

松岡孝兒 レスキューールの長期的景氣變動論(經濟論叢三八一

四) 昭九。

豊崎稔 レエプケの二次恐慌論(經濟時報六—三) 昭九。

飯田藤次 ハロッドの景氣循環論(經濟論叢四五—一) 昭一二。

飯田藤次 カレッキ景氣循環論(經濟論叢四五—五) 昭一二。

小高泰雄 恐慌論上に於けるシスモンディとフォン、キルシエ

マン(三田學會雜誌二五—一一) 昭六。

山口茂 古典經濟學に於ける市場理論の諸相、*Les phases de la*

經濟史並に恐慌學說上の地位(東京商大研究年報、經濟學研

究一) 昭七。

谷口吉彦 古典派における恐慌論と動態論との關係(經濟論叢

三八—三) 昭九。

伊行重 景氣理論におけるシュビートホフとハイエク(經濟論

叢四〇—三) 昭一〇。

安井啄鷹 ストリグル「資本と生産」(經濟學論集五—四) 昭一

〇。

木村健康 オーリン「節約と投資に關するストックホルムの理

論」(經濟學論集七—九) 昭一二。

戸田武雄 カフレッド・ケーラー「恐慌の原因としての資本の缺

乏と過剰」(經濟學論集七—一一) 昭一二。

世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻

難波田春夫 ヨゼフ・ファイレン「景氣的及びインフレーション

の物價變動の判別について」(經濟學論集七—九) 昭一二。

新庄博 貨幣的景氣理論の基本類型(國民經濟雜誌五七—四

五) 昭九。

柴田敬 貨幣的景氣論史(經濟論叢三九—一—二) 昭九。

大北文次郎 ミイゼスの金融的景氣理論(商學論集三)

一谷藤一郎 貨幣的景氣理論に於ける均衡概念(研究と資料

五)

柳澤豐勝 ホートレー景氣循環論(中央大學五十周年記念論文

集) 昭一〇。

新庄博 金融理論の新傾向 昭一二 二一〇頁。

豊崎稔 貨幣的景氣理論 昭一二 二〇一頁。

第一章ウキセル物價理論の分裂 第二章ハイエクの景氣理

論 第三章ストリグルの景氣理論 第四章維納學派景氣理

論 第五章ケインズの貨幣理論 第六章「一般

理論」に於ける貨幣價值及び景氣理論 第七章ケインズの物

價安定政策論の本質變換 第八章貨幣的景氣理論の理論的性

格。

一橋論叢 第一卷 第三號

トロロンスキ・クラウス、(プロレタリア科學研究所譯編) 資本蓄積と恐慌の理論 昭五、一二四頁。(Die Internationale, 1930, 二三四號所載の論文の譯)

ルクセンブルグ、カウツキー、パウエル、ベルンシュタイン、

松井隆一譯編 マルクス恐慌理論 昭六、二六六頁、

リヤシチェンコ、直井武夫譯 農業恐慌の理論 昭六、二〇五

頁。第一部資本主義的農業恐慌の理論 第二部農業に於ける

資本主義的恐慌の歴史。

南部誠一郎 マルクス恐慌論序説(經濟學全集第十四卷恐慌學

説の中、昭七)

奥田忠雄 マルクス恐慌理論(世界經濟問題講座第三部世界恐

慌の中) 昭七、七四頁、

カウツキー、パウエル、ルクセンブルグ、松崎敏太郎編 恐慌

論 昭一〇、二六六頁。

和田佐一郎 ツガンの恐慌論を繞りて(東北帝大經濟學研究年

報 經濟三の中 昭一〇)

中谷實 ケインズの基本的均衡關係(經濟論叢三三一五) 昭六

森田優三 ケインズの物貨指數論(商學第五號) 昭六。

吉田寛 "A Treatise on Money" に現はれたるケインズの金

融理論について(三田學會雜誌二六一四) 昭七。

吉田寛 ケインズ金融理論概説 昭八 三五二頁。

今野源八郎 インフレーションに關するケインズの理論(經濟

學論集三一四「インフレーション理論」特輯一) 昭八。

吉田寛 ケインズ金融理論と管理通貨 昭九 三七六頁。

鬼頭仁三郎 投資と貯蓄(東京商科大学研究年報經濟學研究三)

昭一〇。

田中金司 中立貨幣理論に於けるハイエクとケインズ(商業研

究所講演集第七五册 昭一〇、二二頁)

中村重夫 ケインズの超國家的銀行案(銀行研究二九一四) 昭

十。

高橋正雄 ケインズ貨幣論の研究 昭一一 五六八頁。

中谷實 節約投資の均衡と中立貨幣(經濟論叢四二一六) 昭一

一。

新庄博 貯蓄・信用・資本形成(其二) ケインズ貯蓄・投資理論

批判(國民經濟雜誌六一一) 昭一一。

飯田藤次 投資を越ゆる貯蓄の過剩(經濟論叢四四一二) 昭一

二。

新庄博 ケインズの好況抑制論(國民經濟誌六二―五) 昭一二

中谷實 中立貨幣に於ける貨幣數量(經濟論叢四二―二) 昭一

高橋泰藏 貨幣的景氣理論と不均衡説の交渉(東京商科大学研究年報 經濟學研究二) 昭八。

中谷實 中立貨幣政策に就て(經濟論叢四二―三) 昭一一。

高田保馬 節約の矛盾について——ハイエクの節約讚美論に對する疑問——(經濟論叢三八―五) 昭九。(利子論研究、昭一〇、第十六編所收)

中谷實 節約投資の均衡と中立貨幣(經濟論叢四二―六) 昭一一。

中谷實 生産増加と貨幣需要(經濟論叢三八―六) 昭九。

中谷實 中立貨幣の條件に關する一異説(經濟論叢四四―四) 昭一一。

高田保馬 ハイエクの景氣理論——新しき貨幣的景氣理論を批評して、自己の立場を明かにす——(經濟學論集四―五) 昭九。(利子論研究 昭一〇 第十五編所收)

米原七之助 ハイエクの景氣學説(九州帝大經濟學研究四―一) 昭九。

一谷藤一郎 中立貨幣の理論(經濟論叢四一―五) 昭一〇。

豐崎稔 ハイエクの中立貨幣論(銀行研究二九―四) 昭一〇。

波多野鼎 ハイエク批判(九州帝大經濟學研究五―二・三) 昭一〇。

田中金司 中立貨幣理論に於けるハイエクとケインズ(商業研究所講演集七五冊) 昭一〇 二二頁。

世界恐慌後の恐慌及景氣變動に關する邦文文獻